

2026年度

佐賀大学総合型選抜Ⅰ試験問題

芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科
地域デザインコース

小論文及び

プレゼンテーション資料作成

-----注意事項-----

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 問題の解答は、別に指示がある場合を除き、所定の解答欄に記入すること。
- 3 問題について、疑義がある場合は、手を挙げて質問を行うこと。
- 4 その他、監督者の指示に従うこと。

-----小論文・プレゼンテーション資料作成に関する注意事項-----

- 1 配布物は以下の8点です。
小論文及びプレゼンテーション資料の問題冊子1冊、小論文解答紙1枚、小論文下書き用紙1枚、プレゼンテーション資料作成用イラストレーションボード1枚、白紙1枚（プレゼンテーション資料作成用下書き用紙）、黒・赤・青のペン3本
- 2 小論文とプレゼンテーション作成は同じ時間に行います。それぞれの時間配分は自由とします。
- 3 イラストレーションボードには表と裏があります。受験番号を記入する面が裏です。表面にプレゼンテーション資料を作成してください。書き間違えた場合は、裏面を使用しても構いません。その場合は、使用しない面には大きく全面に×印をつけてください。
- 4 問題冊子、小論文下書き用紙、そしてプレゼンテーション資料作成用下書き用紙の3つは回収しますので、午前の試験終了後から13:15まではそれらを見ても構いません。メモをしてもかまいません。ただし、その他の参考資料を見ることはできません。
- 5 試験時間中（プレゼンテーション及び試問終了まで（昼食時間も含む））は、私語をしないでください。試験室から出ることはできません。なお、トイレを申し出たい人や体調が悪くなった人は手を挙げ、監督者の指示に従ってください。

小論文

以下の文章を読み、問題に解答してください。

みなさんの地元には、地域の自然や産業、伝統文化などと強く結びついた特産のお菓子がいくつもあると思います。

たとえば、石炭産業盛んなころに、炭鉱で経済的に成功した人が好んでつくらせたといわれる福岡県直方市の「成金饅頭」、八幡製鉄所で働く人々の手軽な栄養補給源として親しまれた北九州市の「堅パン」と「くろがね羊羹」などは、北部九州の近代産業の勃興と人々の生活ぶりをしのばせるものとなっています。

また長崎県長崎市の「一口香」、佐賀市の「逸口香」、「丸ぼうろ」などは、中国やスペイン・ポルトガル（南蛮）由来の菓子が、長崎・佐賀地元産の小麦を用いて江戸時代につくられ、広まったといわれます。熊本県熊本市の「朝鮮飴」は、加藤清正が朝鮮出兵（文禄・慶長の役、韓国では壬辰・丁酉倭乱と呼ばれる）の際、栄養価が高くて日持ちのする兵糧としたことに由来するといわれています。これらは中近世日本と世界との関係のなかで生まれた歴史ある菓子として、現代にいたるまで親しまれています。

問題

ここで紹介したものやみなさんの身近な郷土の銘菓をひとつまたは複数とりあげ、

- ・あなたがそのお菓子に注目した理由、
- ・そのお菓子がつくられ、知られるようになった社会的歴史的背景、
- ・現代の地域におけるそのお菓子が果たしていると思われる意味、役割

について 800 字以内で論じてください。

プレゼンテーション資料の作成

小論文でとりあげた郷土の銘菓、あるいはあなたが考える新たな銘菓を提案宣伝するためのプレゼンテーション資料（B3 ボード）を作成してください。のちほどこの資料を使ってあなたの提案を説明してもらいます。資料は文章だけでなく、図表、イラストなどを組み合わせて構成してもらって構いません。

その際には、

- ・アピールしたいお菓子の名称を含んだプレゼンテーションタイトル（既存のお菓子でもかまわない）をつけること、
- ・そのお菓子が郷土の自然や産業、歴史、伝統文化などに根ざしたものであることを示すこと、
- ・現代の人々の嗜好や地域のニーズにどう応えるか、について言及すること。